

北斎 富嶽三十六景 追撮展

江戸時代末期、江戸深川に生まれた葛飾北斎は70歳を過ぎてから、富嶽三十六景を描き始め、江戸に一大旋風を巻き起こしました。

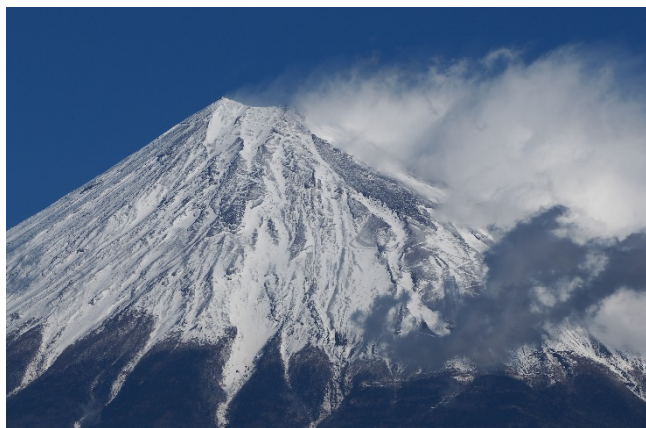
その中の一枚、画面に渦巻く波浪の中を船べりにしがみついた船客の向こうに富士を描いた神奈川沖浪裏は、19世紀に入って Great Wave として欧州に紹介され、その作風は洋画家に多大な影響を与えたといわれています。

このことに触発されて、2017年からこの富嶽三十六景の描画地へ出向いて撮影を行い、このたび 下記の写真展示会を行うことになりました。

北斎 富嶽三十六景 追撮展

期 間	2023年12月17日(日) ～ 12月23日(土)
開場時間	10時～18時
場 所	東京交通会館 地下1階 シルバーサロン A JR 有楽町駅東側 (徒歩1分)
作品点数	約30点
撮影製作	08C 川井秀夫

駿州大野新田
静岡県吉原市 2021年撮影



武州千住
荒川土手 2018年撮影

